

沿革

追悼



取締役会長

故 今村 善美 儀

本葬儀

会場

平塚斎場 全館



- 昭和42年(1967年) 創業者である今村善美氏が川崎市にて個人事業 甲斐組として開業する
昭和44年(1969年) 平塚市に拠点を移す
昭和48年(1973年) 有限会社甲斐組として法人登記する 資本金200万円
本社 神奈川県平塚市撫子原169番地1号
昭和51年(1976年) 株式会社甲斐組に変更し設立
昭和56年(1981年) 建設業の許可 神奈川県知事登録を受ける
神奈川県及び平塚市に入札参加申請を行う
昭和59年(1984年) 本社を神奈川県平塚市大島1025番地に移転する
昭和63年(1988年) 資本金2000万円に増資
平成3年(1991年) 受注高10億円達成
平成5年(1993年) 会社設立20周年を迎える
平成6年(1994年) 機材センターを設立 神奈川県大島1026番地
平成8年(1996年) 本社屋の建替を行う
平成11年(1999年) 産業廃棄物収集運搬許可 神奈川県登録を受ける
平成12年(2000年) 建設業の許可業種の追加を行う
(建築工事業・造園工事業)
平成15年(2003年) 会社設立30周年を迎える
ISO9001:2000の認証を取得
平成17年(2005年) 西湘アスコンへ協業(JV)参加を行う
平成25年(2013年) 今村佳広が社長に就任、今村善美は会長へ
平成28年(2016年) 建築事業部を始業する
平成29年(2017年) 平塚市イクボス宣言企業に登録
平成29年(2017年) 関連会社 日総プランテック(株)の本店を藤沢市に移転
平成29年(2017年) 株式会社五常建設(茅ヶ崎市)と資本提携を行う
平成29年(2017年) 不動産事業部を始業する
平成30年(2018年) 豊和商事(株)にて警備業を始業する
令和2年(2020年) 神奈川県SDGSパートナーに登録
令和5年(2023年) 会社設立50周年と今村佳広社長10周年を迎える
建設コンサルタント登録し土木設計業務開始
令和6年(2024年) 共同特許権取得
地盤工学会全国大会論文発表

MEMORIAL MOVIE

追悼映像をご覧ください

追悼映像をお手持ちのスマートフォンやタブレットにてご覧いただけます
二次元バーコードをスマートフォンで読み込んでください



241110-8691



取締役会長
故 今村 善美儀
令和6年10月12日 永眠(満85歳)

かけた情けは
水に流せ
受けた恩は
石に刻め

「お力添えを賜りました皆様へ

謹んで御礼申し上げます」

弊社取締役会長 故今村善美儀 本葬儀に際しましては
ご多用中にもかかわらずご列席を賜り誠にありがとうございました
令和六年十月十二日 満八十五歳にて生涯をとおしました

弊社の創業当時といえば高度経済成長の真っただ中「戦場」と化した現場において 善美会長は率先して重機を操り怒号をとばし汗水たらして働いたまさに現場主義の男でございました やると決めたら昼夜を問わず作業にあたり仕上がりには納得がいかなければ金銭を惜しまず一からやり直し とことんこだわり抜く姿勢を目の当たりにしその心意気を肌で感じる瞬間には非常に多くの学びがありました 若い世代にもその背中を見せ技術が着実に身につく土壌を整えたからこそ数々の実績を積み上げられたのでしょう 一方で賑やかな場をこよなく愛し折々に人を集めては豪快に笑いながらもてなす場面もございました 皆を笑顔にすることに何よりの生き甲斐を感じる人情家 その精神は現在の和気あいあいとした社内風土や経営理念の中にも垣間見ることが出来ます 「地域笑顔創造企業」この理念には地域に貢献すると共に社員の物心両面の幸福を目指す思いが込められています 会長の熱い思いを引き継ぎました社員一同今後も感謝と思いやりの心を忘れず皆様のお力になりますよう精進してまいりますので変わらぬお付き合いとご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます 皆様のご健勝とご多幸を祈念し略儀ながら書中にて御礼のご挨拶とさせていただきます

葬儀委員長 専務取締役 今村 浩之

ご挨拶

あの日父は酒を飲んで愛する平塚のネオン街を歩きばったり会った若い社員へ愛ある一喝を放った後カラオケで歌いそして自宅で突然倒れました その一週間ほど前には「親父を囲む会」と称し総勢十四名で最高の大宴会を楽しんだばかり 最後の最後まで豪快に笑いそして家族に見守られながらその人生に幕をおろしました 皆様は「親父さんはよかったね」とおっしゃってくださいますが幸せだったのは私達の方です 別れの瞬間に至るまでこれ以上ないほど素晴らしい親子の時間を過ごさせてもらいました

私が甲斐組に入社したのは平成二年十月建設バブルの真っ最中で目の回るような忙しさでした 父が現場にかかる思いや並々ならぬこだわりは十二分に理解していたつもりでしたがたたき上げの創業者である父と二代目の私はまさに「戦いの日々」を過ごしてまいりました 父の大きな背中を手本とし時に反面教師として私なりに走り続けてまいりました 喧嘩ばかりしてきたけれども家族としての温かな思い出も数多くございます 親子であり相棒でありライバルであり…やはり父は私にとってどうしようもなく大きな存在なのです これまでもそしてこれからも…万感を込め伝えます「オヤジ 大好きだよありがとう」

喪 代表取締役 今村 佳広